



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月28日

上場会社名 昭和飛行機工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7404 URL <http://www.showa-aircraft.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田沼 千明
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 木下 尚久 (TEL) 042-541-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,677	△4.4	602	△1.1	569	2.8	356	11.9
28年3月期第2四半期	11,166	1.0	609	△28.1	553	△22.4	318	△32.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △948百万円(-%) 28年3月期第2四半期 1,320百万円(33.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	10.92	—
28年3月期第2四半期	9.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	62,001	31,593	51.0
28年3月期	63,990	32,673	51.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 31,593百万円 28年3月期 32,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
29年3月期	—	4.00			
29年3月期(予想)			—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	3.6	1,700	24.5	1,450	33.5	850	23.6	26.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	33,606,132株	28年3月期	33,606,132株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	990,949株	28年3月期	990,752株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	32,615,299株	28年3月期2Q	32,615,763株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(2) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は106億77百万円（前年同期比4億89百万円、4.4%減）、営業利益は6億2百万円（前年同期比6百万円、1.1%減）、経常利益は5億69百万円（前年同期比15百万円、2.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億56百万円（前年同期比37百万円、11.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの事業区分の一部変更をしております。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更の影響を含めております。

① 輸送用機器関連事業

タンクローリーなどの特殊車両関係や航空機装備品の出荷時期が第3四半期以降へずれ込み、売上高は36億90百万円と前年同期比4億20百万円、10.2%の減収、セグメント損益は89百万円の損失（前年同期1億68百万円の損失）となりました。

② 不動産賃貸事業

商業施設のテナントの入れ替えなどの影響から、売上高は33億87百万円と前年同期比53百万円、1.5%の減収となりましたが、営業費用の減少等によりセグメント利益は10億14百万円と前年同期比80百万円、8.7%の増益となりました。

③ ホテル・スポーツ・レジャー事業

ゴルフ施設は堅調に推移したものの、ホテルの婚礼・宴会が伸び悩み、売上高は21億37百万円と前年同期比37百万円、1.7%の減収となりました。セグメント損益は運営管理方式変更に伴う全社共通営業費用の配賦額の増加により1億91百万円の損失（前年同期30百万円の利益）となりました。

④ 物販事業

温浴事業が回復基調となったことにより、売上高は12億42百万円と前年同期比25百万円、2.1%の増収、セグメント損益は65百万円の損失（前年同期1億2百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、売上債権の回収による受取手形及び売掛金の減少があった一方、現金及び預金や仕掛品の増加等があり、前連結会計年度末に比べて3億92百万円、2.8%増加し、146億55百万円となりました。

固定資産は、株式市況の下落により投資有価証券が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて23億81百万円、4.8%減少し、473億46百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて19億88百万円、3.1%減少し、620億1百万円となりました。

(負債)

流動負債は、未払消費税等の減少や未払費用の減少に伴うその他の流動負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べて4億10百万円、5.0%減少し、77億89百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が増加したものの、投資有価証券の時価下落に伴い繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて4億98百万円、2.2%減少し、226億18百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億8百万円、2.9%減少し、304億7百万円となりました。

(純資産)

純資産は、投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて10億79百万円、3.3%減少し、315億93百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ3億56百万円増加の65億58百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動による資金収支は、たな卸資産の増加による支出があったものの、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上による収入及び売上債権の減少による収入があったことなどにより、前年同期と比べ2億11百万円減少の8億83百万円の資金収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、有形固定資産の取得による支出があったことなどにより、前年同期と比べ23億21百万円減少の5億62百万円の資金支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、長期借入金の返済による支出及び配当金の支払額があった一方で、長期借入れによる収入があったことなどにより、前年同期と比べ3億78百万円減少の46百万円の資金収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

一部売上が第3四半期以降へずれ込んでおりますが、現段階では平成28年4月26日発表時の通期の業績予想につきましては、変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(2) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777	4,923
関係会社預け金	1,640	1,851
受取手形及び売掛金	4,900	4,322
商品及び製品	614	660
仕掛品	818	1,370
原材料及び貯蔵品	862	894
繰延税金資産	168	186
その他	484	447
貸倒引当金	△5	△2
流動資産合計	14,262	14,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,769	25,174
機械装置及び運搬具(純額)	1,511	1,489
工具、器具及び備品(純額)	392	551
土地	12,264	12,264
その他(純額)	145	258
有形固定資産合計	40,084	39,739
無形固定資産		
その他	73	93
無形固定資産合計	73	93
投資その他の資産		
投資有価証券	8,691	6,844
繰延税金資産	52	53
その他	945	734
貸倒引当金	△119	△118
投資その他の資産合計	9,570	7,513
固定資産合計	49,727	47,346
資産合計	63,990	62,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,422	1,414
1年内返済予定の長期借入金	2,920	2,910
未払法人税等	264	312
未払消費税等	351	76
賞与引当金	343	357
工事損失引当金	29	71
その他の引当金	4	5
その他	2,862	2,642
流動負債合計	8,200	7,789
固定負債		
長期借入金	9,880	10,110
受入敷金保証金	4,560	4,466
繰延税金負債	2,010	1,440
退職給付に係る負債	5,809	5,859
役員退職慰労引当金	540	407
その他	314	333
固定負債合計	23,116	22,618
負債合計	31,316	30,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,949	4,949
資本剰余金	8,977	8,977
利益剰余金	14,689	14,915
自己株式	△377	△377
株主資本合計	28,239	28,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,395	3,113
為替換算調整勘定	38	15
その他の包括利益累計額合計	4,433	3,128
純資産合計	32,673	31,593
負債純資産合計	63,990	62,001

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	11,166	10,677
売上原価	8,366	7,832
売上総利益	2,800	2,845
販売費及び一般管理費	2,191	2,242
営業利益	609	602
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	102	111
その他	32	37
営業外収益合計	136	149
営業外費用		
支払利息	78	71
遊休施設管理費	43	37
地域再開発費用	40	30
その他	29	42
営業外費用合計	192	183
経常利益	553	569
特別利益		
固定資産売却益	—	20
特別利益合計	—	20
特別損失		
固定資産除売却損	21	10
その他	0	—
特別損失合計	22	10
税金等調整前四半期純利益	531	579
法人税、住民税及び事業税	233	248
法人税等調整額	△20	△25
法人税等合計	213	223
四半期純利益	318	356
親会社株主に帰属する四半期純利益	318	356

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	318	356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	998	△1,282
為替換算調整勘定	3	△22
その他の包括利益合計	1,002	△1,305
四半期包括利益	1,320	△948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,320	△948
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	531	579
減価償却費	1,071	1,094
その他の償却額	66	50
固定資産除売却損益(△は益)	21	△10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6	△3
受取利息及び受取配当金	△103	△112
支払利息	78	71
売上債権の増減額(△は増加)	781	577
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	△629
仕入債務の増減額(△は減少)	△109	△8
未払消費税等の増減額(△は減少)	39	△274
その他	△493	△271
小計	1,508	1,063
利息及び配当金の受取額	103	112
利息の支払額	△78	△72
法人税等の支払額	△437	△220
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095	883
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,845	△731
有形固定資産の売却による収入	—	28
投資有価証券の取得による支出	△0	—
定期預金の預入による支出	△176	△176
定期預金の払戻による収入	166	176
その他	△27	140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,884	△562
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	—
短期借入金の返済による支出	△500	—
長期借入れによる収入	1,800	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,210	△1,280
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△130	△130
その他	△34	△42
財務活動によるキャッシュ・フロー	424	46
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,360	356
現金及び現金同等物の期首残高	6,479	6,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,118	6,558

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機 器関連事 業	不動産賃 貸事業	ホテル・ スポー ツ・レジ ャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	4,111	3,440	2,174	1,216	10,944	222	11,166	—	11,166
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	120	67	6	5	200	117	318	△318	—
計	4,232	3,508	2,181	1,222	11,144	340	11,485	△318	11,166
セグメント利益 又は損失(△)	△168	933	30	△102	693	△83	609	—	609

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	輸送用機 器関連事 業	不動産賃 貸事業	ホテル・ スポー ツ・レジ ャー事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	3,690	3,387	2,137	1,242	10,457	219	10,677	—	10,677
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	61	72	2	0	136	103	239	△239	—
計	3,752	3,459	2,140	1,242	10,594	322	10,917	△239	10,677
セグメント利益 又は損失(△)	△89	1,014	△191	△65	667	△64	602	—	602

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、福祉介護事業及び野菜事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「ホテル・スポーツ・レジャー事業」の運営管理方法を変更したことにより、同事業の全社共通営業費用の配賦額が増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間における同事業のセグメント利益又は損失(△)に与える影響額は△176百万円であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織の意思決定と対応の迅速化を目的として組織変更を行っております。この変更に伴い、「輸送用機器関連事業」に含まれていた野菜事業について「その他」へ変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。